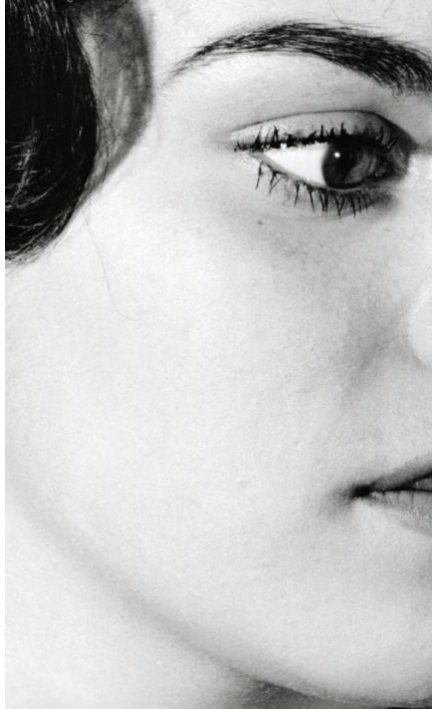


Koichi yamamura gallery

〒106-0045 東京都港区麻布十番3丁目8-6 グランパセオ麻布十番 1F

イヴァイロ・ゲオルギエフ **幻影こそが唯一の現実である**

2024年9月14日(土)～10月5日(土) | 11-19 (休廊: 日・月・祝日)



イヴァイロ・ゲオルギエフ、幻影こそが唯一の現実であるは、というテーマを、現代のレンズを通して探求する。今回展示では経験の中にある普遍的な日常（葛藤）に光を当てる。

豊かな物語と象徴的な深みに触発されてこの作品は、「聖アンソニーの誘惑」の物語にまつわる豊かな物語と象徴的な深みに触発されている。多面的で永続的な力としての誘惑を掘り下げている。

この探求は、幻影の心理的な基盤であり、人間の複雑さと矛盾の混合を写し出している。



誘惑は時に、欲望と希望の間から生まれる。快樂主義と道德の根深い葛藤を反映している。

このシリーズは、刹那的な満足と道德的な願望が衝突する、はかない満足と倫理的誠実さの追求がぶつかり合う。その内的な戦いが本質を捉え作品に繋がる。今回展示は、誘惑に対する挑戦としてではなく、欲望と良心の間の深い内面の葛藤として映し出す事を描いている。この視点は、私たちの意思決定プロセスの複雑さについて思慮深い考察を促す。誘惑は単に抵抗すべき外的な力ではなく、内的な衝動と倫理的な配慮の高度な相互作用であるという考えを浮き彫りにする。人間の根底にある心理的メカニズムを掘り下げること、条件についてより深い視点を提供する。これらの潜在意識的な要素を前面に押し出すことで、人間の行動に対するより豊かな理解を促している。

見慣れたものを見慣れない方法で見ることをテーマにした作品群。